

# R2年度シンポジウム概要資料

令和2年10月21日  
検討会事務局

# 次世代モビリティサービスシンポジウム概要

## 目的

アフター／ウィズコロナ時代における生活様式の変動を考慮し、5年後、10年後に目指す大分県の移動について、専門家や先進地域の話も参考に、各関係者と共に考える機会とする

## シンポジウム内容

開催日:令和3年1月下旬で最終調整中  
会場:レンブラントホテル(参加人数100名程度を想定)

来場予定者:交通事業者、システム事業者、観光および公共交通  
関連自治体職員など

### 日本の次世代モビリティ方向性

#### 基調講演(仮)

- 1.計量研究所理事 牧村和彦氏
- 2.経済産業省製造産業局自動車課

#### 内容:

- ・他県、海外の取組も参考に、アフターコロナのモビリティの動向、5年後、10年後の将来像、展開について講演
- ・デジタル化とサービスの掛け合わせによる持続可能な移動の確保について、参加者に「気づき」を与える

### 移動の変化とビジネス機会

#### 講演者(仮)

- 1.ローランド・ベルガー  
山本和一氏

#### 内容:

- ・コロナ後、移動総量の減少、ピーク平準化、移動ポートフォリオの変化、移動の質の重要性が浮かび上がった
- ・モビリティサービスの新潮流は、技術や商品起点ではなく、ユーザーの価値向上を実現し、需要を喚起するような製品・サービスを志向する点について講演

### 他県先進例・大分県の取組

#### 講演者(仮)

- 1.サービス提供事業者
- 2.地方自治体職員

#### 内容:

- ・大分県における移動課題の解決の参考となる、先進的な取組やシステムをご紹介いただく
- ・導入に際してどのような課題があるかや、導入した結果どのようなメリット・デメリットが浮かび上がったかなどを講演

### 次モビ体験



立ち乗り  
EVや  
宅配ロボ  
を展示